

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0191400316		
法人名	株式会社 秀		
事業所名	グループホーム ふるさと		
所在地	函館市富岡町1-54-17		
自己評価作成日	平成29年1月10日	評価結果市町村受理日	平成29年2月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL [http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou\\_detail\\_2015\\_022\\_kani=true&JigyosyoCd=0191400316-00&PrefCd=01&VersionCd=022](http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=0191400316-00&PrefCd=01&VersionCd=022)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成29年2月17日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

各入居者が毎日を有意義に過ごせる様、お互いに助け合い・思いやり生活出来る様支援しています

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

国道5号線より住宅街に入った閑静な場所に開設された木造モルタル2階建て1ユニット(定員:8名)の下宿改装型の家庭的雰囲気を感じるグループホームです。  
七夕祭りでは、近隣の子供たちや住民が訪問して来たり、敬老会では、地元の中学校の吹奏楽部の生徒たちの慰問で演奏会を開催してくれ、楽しみごとのひとつとなっている。また、誕生会やクリスマス会など事業所内での行事の充実を図っている。  
戸外に出かける支援では、一人ひとりのその日の希望に沿って外気浴や散歩、紅葉やお花見ドライブなど戸外に出かけられるように機会を設け、楽しみごとや気分転換等の支援をしている。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目		取組の成果 ↓該当するものに○印		項目		取組の成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどつかんでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない				

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各入居者の尊厳を持って暮らし続けられるように支援し、職員は情報共有し業務に繋げる様努めている	事業所独自の理念をつくり、日常業務やカンファレンスを通じて共有し、その実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の学校との交流も続け、子供達との過ごせる時間を増やし、季節の行事を継続する事で地域との関わりを増やす様努めている	七夕祭りでは、近隣の子供たちや住民が訪問して来たり、敬老会では、地元の中学校の吹奏楽部の生徒たちの慰問で演奏会を開催してくれ、楽しみごとのひとつとなっていて、地域との交流・連携に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	家族や職員等と公共の場へ外出する事により、対応の仕方によって日常生活を送れるという事を理解して頂ける様努めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会では参加者全員より意見を出し合い現状かや今後のあり方についての意見交換をしている	運営推進会議では、地域包括支援センターの役割りや在宅での看取りなど具体的内容について話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かせるよう努めている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃より電話・FAX・Eメール等で最新情報を得て、現情報告をし、常に連携を取っている	市担当者とは、日常業務を通じて相談や助言を得るなど協力関係を築くよう努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間帯のみ防犯上玄関施錠。日中・夜間を直し、身体拘束にならないケアに繋がらない様入居者の状態把握に努めている	指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を日常業務やミーティングで正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	講習会に参加したり、他の職員の意見も聞き指導も含め防止に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	高齢者についての様々な研修会に可能な限り出席しその報告会を開き、活用できる様支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容については特に変更は無く、皆様の理解を得ている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常生活での意見や要望を運営推進会議や家族訪問時に伝え、今後の対応に生かせる様に心掛けている	本人・家族等が意見や苦情等を言い表せるように玄関入り口に苦情受付箱を設置し、そこでの意見や要望等を運営に反映するよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や発案を話し合う時間を設ける様努め、その結果を反映出来る様心掛けている	日常業務やミーティングを通じて、職員の意見や要望、提案を聞く機会を設け、そこでの意見やアイデア等を運営に反映できるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	有休や休み希望等は優先的に取り入れている。又、賞金等でも、賞与を支給する等毎年見直されている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各職員の力量を見極め個別指導等実施したり利用者と一緒に行う事で自身の向上に繋がっていく様指導している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	グループホーム協議会、又、包括や委託事業所、保健福祉部監査指導課よりアドバイスをいただき、サービスの向上に努めている		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人より聞きとりを確実にし言葉に出来ない時も、職員が上手く誘導して安心して過ごせる様努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	一日の利用者の生活状態を話しそれに対し、職員がどのように関わっていくのか説明し安心した生活環境を提供出来る様努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居との意識がない方に対し、リハビリ目的等と伝え、不安や帰宅願望に繋がらないよう対応し、日常生活を送れる様努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	各利用者の特徴を把握し、自分に置き替え考えすぐ対応できる様努めている		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族訪問時には共に居室で過ごして頂き普段の生活状態を伝え共有している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族よりの希望にて毎月外出されたり一年に2回の墓参りや思い出の店へ行く等繋がりが途切れない様する為、本人の状態を維持する事に努めている	お墓参りや地域の行事参加、家族と一緒にの外出支援を通じて、馴染みの人や場所との関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	各利用者の特徴を把握し、共に役割を果たせる様な場を設け、それによって座席移動等を行い孤立させない様支援している		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ情報提供。転居・退去としても、相談等も受け関係を大切にしていこう努めている		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中でご本人が何を希望され、何を困難としているのか会話中より聞きとり、意向に添える様努めている	生活歴の把握やアセスメントの実施で、本人・家族からの意向や要望を話し合い、本人本位に検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	自宅という自覚はないが、ホームの生活には慣れている。今後、行動範囲を少しでも広げていける様努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の体調管理・精神面での対応に対処出来る様努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の体調・メンタル面の問題点を定期的に見直し、日々対応をかえ、病院受診時報告。家族にも伝え、本人にとって暮らしやすいケア計画を練り込んでいく様に努めている	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族の意見や要望、医師からの指導や助言、モニタリングを通じて職員の見解やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の変化に都度対応し、記録に落とし他職員よりの意見の取り入れ工夫に努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人のADL低下にて、サービス内容の追加、変更やご家族の状況変化に合わせ対応できる様取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	季節によって戸外での出来る活動を援助し楽しみを持ち、既存の力を出せる様に支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な訪問診療・医療連携の他、体調変化によつての臨時往診の依頼等、常に連携を図っている	往診や通院への支援、日常の健康管理で適切な医療を受けられるように支援している。また、受診は、本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の状態変化にて、医療機関と常に連携を取っている。必要時、看護師を通し医師よりアドバイスを受れたり、臨時往診の依頼もしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際、ご本人との面会、ご家族様とも今後の相談も兼ね、連絡を取り、病院側より情報を得る様努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	人生の終わり方については、ご本人とご家族様との間で話は決まっている事が多く、ホームとしてはご本人の状態に応じご家族様と連携病院等との話し合いの場を設ける様取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族と話し合い、事業所ができることを十分に説明しながら、指針を職員間で共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の連絡・対応について連絡網を作成し、マニュアルを作り、医療との連携もすぐ取れる様体制を整えている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は年2回、入居者は参加で、ご家族様にも出来る限り参加して頂ける声を掛け隣にも周知して頂き実施。避難経路も、近くの同法人施設と連携を図り、備蓄管理も定期的に確認している。	昼夜を想定した年2回の火災避難訓練を家族も参加して実施しており、避難経路の確保や同一法人が運営する近隣施設との連携もしている。	
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各入居者の人権を尊重しながらその人に合った言葉掛けに注意する様心掛けている	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように職員間で周知に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分で決定出来る様に自信を持って頂く様な言葉掛けをしていく様努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	生活リズムが出来上がっている中で、職員側のペースに合わせず、各入居者に合わせ、それに沿った一日を過ごせる様支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	気に入っている衣類は、勿論優先にし、普段あまり着ることが無い衣類等も褒め、自分の意思で更衣等出来る様支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各利用者の好物を聞き、メニューに取り入れている。準備片付けについても、状態を確認しながら出来る事は継続出来る様努めている	水分・食事の摂取量を把握している。また、一人ひとりの好みや力に合わせて職員と一緒に食事の準備や後片付け等を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(食事については)入居者の身体状況に合わせて形状を変えたり、摂取出来ない場合は栄養バランスも考え捕食で補い、水分についても好き嫌いがある為、一日を通し、飲める物を提供し、水分量を確保し出来る様支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自分で)口腔ケアが出来ない利用者は、職員が対応し、出来る事を継続し、出来ない事については口腔内清拭を実施、生活保持に努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	歩行困難な利用者は、時間を見てトイレ誘導を実施している。自立されている利用者についても、同行し、排泄の失敗をしない様声掛けをし、自立への支援を行っている	一人ひとりの力や排泄パターンを把握して、声かけや誘導等の工夫でトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く含む食品や内服薬の併用、乳製品の提供を行っている。日中も出来る範囲での運動を行い、排泄パターンが、各利用者によっても毎日同じではない為、都度予防に取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	入浴日は決まっているが、毎日入りたいという希望や今日は入りたくないという利用者に対して希望に添える様努めている	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて柔軟な入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午前・午後と各居室自由行動。休息される方、他利用者と談話される方は勿論、リビングにいて落ち着く方は見守りながら過ごして頂ける様支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者の処方されている定期薬や臨時薬を理解し、それによって起こりうる副作用や症状の変化み気を付け状態観察に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節毎の行事で、誕生会・祝日等で気分転換出来るよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	病院受診や墓参り等は協力を得て家族対応で行っている。又、利用者の意見も聞き入れ行事以外でも外出を組み入れていける様努めている	戸外に出かける支援では、一人ひとりのその日の希望に沿って外気浴や散歩、紅葉やお花見ドライブなど戸外に出かけられるように機会を設け、楽しみごとや気分転換等の支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は家族が管理されており、本人自身で管理するのは難しい状況である。お金の大切さは理解されており通帳の、確認を家族にされている。日用品に関しては、買物代行を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や葉書など来る事もあり、やり取りや電話対応も出来る様に支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内・居室も含め、利用者自身が作った物等を飾りつけ季節感を取り入れる工夫をしている	共用空間は、利用者にとって、気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、家庭的雰囲気を感じるグループホームで、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	開いているスペースを利用したり、利用者同士で席移動されたり談話出来る居場所を自分達で作られる場がある為、声掛けしながら対応に努めている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の私物や、家族からの差し入れを飾ったりされ、本人が日々生活しやすいよう工夫している	居室には、家族と相談しながら使い慣れた家具や身の回りの品が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内各所に何をやる所か、わかりやすく絵や文字で掲示をし、自分で移動出来る様見守りながら、よりわかりやすいよう工夫している		

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム ふるさと

作成日：平成 29年 2月 20日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	13	職員が固定せず、常に人材不足である為、利用者への気配りがおろそかになってしまうのではないかな不安である	利用者を優先にした介護が出来る様努力する	各職員が介護職という自覚を持ち、責任を持った行動をとる事と気付いた事は、独断で判断せず他職員の意見も聞き入れ協力しあう	12カ月
2	38	職員側の都合を優先にする傾向がみられてきている	一人一人のペースを大切にし、出来る限り希望に添えるよう努力する	各職員が心身ともにゆとりを持って利用者に接すること	12カ月
3	41	食事については、職員の思い込みで提供量を少なくしたり、本人よりの食べたくないという言葉そのまま受け止めてしまう。水分についても、職員側の判断で制限をしている	利用者が食事を積極的に食べれる様なものを提供出来る様努力する。水分についても、医師の指示通り提供出来る様努力する。	高齢者だからという先入観を捨てる、いくつになっても美味しいものを食べたいのは皆同じである。味付け・調理法に配慮する。水分についても、指示に従う	12カ月
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。